

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス大笑		
○保護者評価実施期間	令和8年2月5日	～	令和8年3月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	令和8年2月24日	～	令和8年3月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者への細やかな情報発信とコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 活動の様子を写真付きサービス提供記録で発信しており、保護者様から好評を得ている。 送迎時の対話を通して日々様子を丁寧に伝え、安心感に繋がっている。 活動の様子をSNS等で定期的に発信している。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、保護者様が安心してできる細やかな情報共有を継続する。 ケガや体調不良等が発生した際は、事の大小に関わらず「必ず当日中に直接または電話で報告する」ことをスタッフ間で徹底し、さらなる信頼関係の構築に努める。
2	個別支援計画に基づく適切な支援と職員間の連携	<ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画について丁寧な説明を行い、全保護者様から同意を得て支援を進めている。 毎日の申し送り支援の振り返りを行い、職員間で気付いた点や日々の状況を共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> パート勤務の職員も含め、事業所全体で支援方針や児童の状況をより深く共有できる仕組みを強化し、支援の質の底上げを図る。
3	個々のニーズに合わせた環境設定と安全・衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> 生活空間を清潔に保ち、パーテーションを活用して個別の活動や宿題、休憩ができるスペースを確保している。 食物アレルギーの確認を徹底し、安全な支援に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> パーテーションの転倒防止や机の角の保護など、物理的な安全対策をさらに進める。 契約時の確認事項(予防接種歴の確認等)のフローを整備し、より安全・安心な環境づくりに努める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個人情報の取り扱いとシステム運用の徹底	<ul style="list-style-type: none"> システムの誤操作により、他利用者の情報が表示されてしまったインシデントがあった。 事業所内での裏紙の使用など、情報管理に対する意識とルール徹底に甘さがあった。 	<ul style="list-style-type: none"> システム操作手順と個人情報取扱いのマニュアルを再確認し、情報発信時の複数職員による「ダブルチェック体制」を徹底する。 裏紙の使用ルールを見直し、個人情報保護の意識向上を図る。
2	家族支援(保護者間交流・きょうだい児支援)の不足	<ul style="list-style-type: none"> ペアレント・トレーニングなどの家族支援プログラムが未実施となっている。 保護者様同士や、きょうだい児を含めて交流できるイベントの企画・実施が十分にできていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者様へのアンケート等を通じてニーズを把握する。 気軽に参加できる「お話会」や、きょうだいも一緒に楽しめる季節のイベント等を積極的に検討し、実施していく。
3	地域社会との交流および連携機会の不足	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内での活動が中心となり、地域のイベント参加や他児との交流機会が少ない。 自立支援協議会等への参加が不足しており、地域ネットワークとの繋がりが弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> 近隣の公園や公共施設を積極的に利用し、地域の子もたちと自然に関われる機会を増やす。 地域のイベントへの参加や、自立支援協議会への積極的な参加を通じて、地域に開かれた施設運営を目指す。